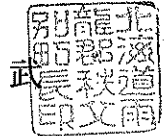


秩 建 道 号  
平成19年5月1日

国土交通省 道路局長 様

秩父別町長 神 薮



中期的な計画の作成にあたっての意見提出について  
平成19年4月2日付国道企114号で依頼ありました標記の件について、  
別紙のとおり提出いたします。

## 中期的な計画の作成にあたっての意見

(秩父別町)

道路事業に係る中期計画作成に係るアンケートについて、次のとおり回答いたします。

### I. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

#### (1) 車社会に対応した安全対策の推進

##### ①主要幹線道路の複車線化推進

地方では自家用車が地域住民の重要な交通手段であり、また高齢化の進展に伴い今後は高齢者ドライバーの増加が予想される。

車両の円滑な走行を確保し、またや高齢者等が安心して走行できるよう、交通量の多い幹線道路においては、完全2車線化や複車線化を計画的に進める必要があると考える。

##### ②交通弱者を守るための歩道や道路安全施設の整備

交通弱者である幼児や児童、高齢者の交通事故防止を更に進めるため、歩道の拡幅をはじめ杖や歩行機を使用した高齢者が歩きやすい歩道形状への改良、推進が必要と考えられる。

##### ③冬期間の除雪対策

北海道において冬期間の除雪は、車両や歩行者の安全確保とともに住民が日々安心した日常生活を過ごす上で重要な施策であり、主要幹線道路をはじめ通学路などの生活道路について、冬期間の除雪体制の維持・拡充は今後も優先事項として推進する事が必要である。

#### (2) 地域の活性化を図る道路網の整備

都市と地域、或いは地域と地域を結ぶ道路網の整備は、日常生活物資の輸送をはじめ、地域にあっては特産品や農作物などを消費地に円滑に輸送するため欠くことのできないものである。

主要幹線道路をはじめ地域道路網の整備を進めることにより、地域の特産品や農作物等の輸送時間短縮や輸送コスト削減を図ることが出来、地域の活性化を更に進める事が出来、更には道路網の整備を進める事で新たな地域観光ルートの創設などの相乗効果が期待できる。

また、災害時においては多くの避難ルートや緊急物資の輸送ルートの確保にも繋がるものと考えられる。

### (3) 地域と一体となった道路等の維持管理

#### ① 地域ボランティアとの協働事業の推進

自宅前の歩道や道路脇排雪や清掃、花壇の植栽などを沿道に暮らす者が共同でのボランティア活動を行う際、国や町もこうした事業を協働して支援することにより、道路や橋が自分たちの生活と密着した大切な財産であることを自覚し、また活動を通じて地域コミュニティが推進できるものとする。

こうした観点から、協働事業に対する支援を推進して行く事が大切であると考える。

## II. 効率化を進める上で重視すべきこと

これからは、既に建設された道路や橋などをより長く使用できるための維持・管理が重要になって来ることから、既存道路等の長寿命化に向け、計画的な改修を図りながらの維持管理コストの削減や、既存の道路網を上手に活用しながら道路のネットワーク化を推進する事が重要であるとする。

また、新しい技術の開発しながら、これらを道路建設に生かし建設費のコスト削減を図られることを期待する。

## III. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

地球温暖化防止に向け、既にドイツ等では行われている様な、都市の市街地などへの通勤自家用車の乗り入れ防止に向け、市街地付近に駐車場を整備しそこからは自転車での通勤する等の施策は、北海道の都市では可能ではないかと考える。